

(別記様式)

令和8年度 府立北桑田高等学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン) (計画段階 実施段階)

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>1 時勢の変化と教育に対する社会的ニーズの推移に対応した、特色ある教育を創出する。</p> <p>2 少人数教育により個性を活かし、自ら動き、挑戦し、進路目標に応じた学力・能力を身につけ、将来を切り拓いていくことができる生徒を育てる。</p> <p>3 府立大学系属校として地域や大学等との連携により探求を深め、「広い視野と高い理想」「未知への興味・課題解決の創造性」を育てる。</p> <p>4 郷土の自然や文化を学び、地域や京都府を誇りに思い、前向きに地域と係わり貢献しようとする「地域の担い手」「森の担い手」を育てる。</p>	<p>・少人数を活かした個に応じた学習指導、進路指導を進めることができた。学習用アプリ、進路講習・模試等を効果的に配分し、難関大学、公務員をはじめ、ほとんどの生徒が希望進路を実現できた。</p> <p>・ICT教育推進を目標に掲げ、タブレットを有効利用した授業の展開やICTを有効活用した授業研究など活発に授業改善を試みる教職員が世代を超えて着実に増加している。</p> <p>・HP、メール、SNS、広報誌、テレビ、新聞等による本校からの情報発信を積極的に行った。本校の魅力を伝える広報活動と入寮生徒の定員に合わせた生徒募集活動と連動させる必要がある。</p> <p>・地元に加え、他地域や全国募集による入学生の確保に向けた取組を進めたが、寮整備や通学方法など更なる条件整備を行う必要がある。</p> <p>・前年度以上に働き方改革を推進するとともに、本校の特色ある教育活動を損なうことなく一層の進展を図る必要がある。</p> <p>・全国的にも稀な小規模校における部活動の成功例となるような活動実績を残すとともに、生徒の部活動における充実度、満足度を上げる。</p>	<p>1 スクールポリシーに則り地域連携や高大連携等を深め、更なる学校の特色化に取り組む。</p> <p>2 学習指導要領の実施やICT教育の推進のために適した方策を研究し、教職員研修の充実を図る。</p> <p>3 多様な生徒や進路希望に対し、少人数教育を活かしたきめ細かな指導とともに、地域や大学等との連携により探究を深め、自ら考え、動き、解決しようとする機会を増し進路実現に繋げる。</p> <p>4 本校や地域の発展にも繋がる「SDGs」を教育活動の中心に捉え、学校運営協議会による地元幼小中学校や行政・地域団体等との連携を進め、地域に信頼され、地域の活性化に貢献できる取組を更に推進する。</p> <p>5 学科、カリキュラム、学校行事、特別活動、部活動などの特色ある教育活動について積極的な情報発信を行い、組織的、効果的な生徒募集につなげる。</p> <p>6 喫緊の課題として遠方からの入学者が本校を選択できるよう環境整備に取り組む。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
組織運営	系属校としての学校活性化の推進	普通科・京都フォレスト科の教育内容の充実				
		一人一人を大切にすることを実践し、成果を発信する。				
		地域連携や大学等との連携による特色化と、深い学びの充実				
	「チーム北桑田」としての組織的で効率的な学校運営	校内各種会議の機能的運営				
		分掌間・教科間・学科間等、教職員間の連携強化				
	働き方改革の推進	退勤時間を意識した業務の効率化・合理化				
教職員研修の充実	ICT教育関連の研究と教職員研修の充実					
	多様な社会情勢を生き抜く「確かな力」を育む学校づくり					
教育課程の編成と実施	生徒・保護者・地域のニーズと期待に応じた教育課程の編成・再考と実施	教科主任会議を中心に系属校化に伴う課題、修正点の把握と改善を図り、令和9年度以降の教育課程編成に反映させる。				
学習指導	生徒の学習意欲の維持・向上	教師が生徒との共有時間確保のために、主管会議の精選・教育環境の整備・教育計画の工夫と実現				
		ICTの活用を活かして生徒が能動的に授業・学習に取り組める環境の確保・整備				
	さらなるICT化の推進	Teamsや保護者連絡ツール等の環境整備及び運用体制を構築し、業務の削減・効率化を図る。				
総務企画	学校経営計画に基づいて展開される特色ある教育活動に関する広報活動の充実	系属連携事業を含む両学科の学習内容及び学校行事、部活動等、全校生徒が創る教育活動とそこに学ぶ生徒の姿を記録し、広く地域社会に発信し学校の魅力を伝える。				
	次年度入学生の定員充足率については、今年度を上回る水準の確保を目指すとともに、美山中学校および京都京北小中学校からの進学率のさらなる向上を図る	学校説明会、学校ホームページ等を活用した広報活動を通して、本校を希望する中学生及びその保護者に対して進路指導の一助となる情報提供を効果的に行う。				

評価領域						
人権教育	生徒の人権意識の向上	生徒の実態に即した人権教育の実施と、人権尊重の意識や差別を許さない態度の育成				
	分掌、特に学年との連携を密にする 教職員研修の充実	各学年の課題に対する適切な対応				
		教職員の世代交代を踏まえ、これまでの人権教育の成果と課題を引き継ぐ取組の推進				
系属推進	京都府立大学系属高校として実施する学校特色化プラン及び学力向上システムの定着と教育効果の検証 三者協議〔大学、高校、高校改革推進室〕で確認された系属連携事業・学校推薦型選抜における方向性に沿った校内調整及び実施	学校特色化プランとして実施する系属連携事業及び学力向上システム〔教育課程、教育計画〕改編部分の定着と、教育効果の検証、改善点の修正				
		系属学部系属学科学校推薦型選抜〔系属高校枠〕に向けた進路指導方針の策定と、令和9年度選抜に向けた具体的な進路指導体制・指導方法〔校内〕の確立				
進路指導	3年間を見通した進路指導を推進し、進路意識を喚起して自ら進路を切り拓く力を育成する。	学年部、系属推進部、各教科と連携し、生徒一人ひとりの適性・能力を的確に把握し、少人数教育を活かしたきめ細かな指導を通して、希望進路の実現を図る。				
		進学講習、サテライト講座、模擬試験等を活用し、学ぶ姿勢の確立や基礎学力の定着を図る。				
		学校、生徒、保護者が三位一体となって進路実現に向けて取り組むために、保護者への進路情報の提供についてより一層の充実を図る。				
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識・社会性の養成	「挨拶」「正しい言葉遣い」「身だしなみを整える」等当たり前のことが当たり前にできるようにする。				
		SNS等でのトラブルを防げるような場面で啓発を行う。				
		規則違反やマナー違反・不正を許さず、安心して安全な学校生活の推進する。				
	安全教育の徹底	定期的な交通安全指導に加え、生徒会とともに交通安全を推進できるようにする。				

評価領域						
特別活動	生徒会活動の充実	既存の行事だけでなく、全校生徒が更に充実した学校生活を送れるよう生徒会が主体的に活動する。				
		学校祭でもICTを効果的に活用できるよう、取り組み内容を検討する。				
健康・安全教育	保健管理、 保健教育の充実	配布物の持ち帰り、分別等、ゴミの出し方について指導し、週3日の平常清掃をしっかりと実施する。				
		各種健診結果により、生徒への医療機関受診を促進する。				
		救命講習や薬物乱用防止教育、性教育、生命のがん教育を実施し、生徒の健康に関する意識の向上を図る。				
	特別な支援を要する生徒への指導・支援の充実	生徒の状況把握を徹底し、担任団とも連携して情報の共有を図り、個々の生徒への適切な指導と支援に努める。				
道徳教育	規律・規範を重んじる姿勢の養成	規則や公共の場におけるマナーを守る態度の育成				
	愛情を持って人に接する人間性の養成	各教科や各分掌との連携を図り、人間として望ましい在り方について考える姿勢の育成				
家庭・地域との連携 (PTA)	PTAとの連携及び運営の効率化	PTAと連携は維持しつつも、生徒減による役員等の負担増の軽減を目指す。				
	地域への積極的な広報活動の展開と連携のより一層の強化	学校ホームページ等を活用した広報活動を行い「みがく、かがやく」の実践を発信し、地域拠点校として地域から信頼を得られる魅力ある学校づくりを行う。				

評価領域						
学校図書館	図書・電子資料の適切な活用力育成による、豊かな読書生活の醸成	資料の適切な利用促進				
		各教科での授業利用の推進				
読書活動の推進、読解力向上のための読書推進						
	地域文化の資料・情報収集に努め、地域活性化への貢献を図る。	地域の特色である林業を中心に地域に関わる資料の収集、展示				
農場部	実践的な教育活動を通じた専門的知識・技能の習得と、林業を担う人材の育成	森林・林業に関する実習内容の充実				
		安全管理の徹底と作業技術の向上				
		資格取得に向けた指導の充実				
	地域資源を活用した教育活動の推進と、地域社会に貢献できる実践欲の育成	地域の森林資源を活用した実習の実施				
		地域団体と連携した活動の推進				
		地域課題を踏まえた探究活動の充実				
環境保全と生産活動の両立を目指した学習の充実と、持続可能な取組の推進	持続可能な森林管理に関する実習の実施					
	環境保全意識の向上に向けた取組の推進					
寮務部	安心して信頼され、円滑な寮生活を送るためのルールや規則の徹底	寮生徒とのコミュニケーションを充実させ、信頼される人間関係を構築し、きめ細やかな生活指導によって規則の遵守する姿勢を醸成する。				
	安全衛生と快適な生活環境の確保及び施設の充実	一人ひとりが健康維持・増進と安全衛生の確保に勤め、施設・設備の点検と改善による快適な生活環境を確保する。				
事務部	少ない予算を活かした効率的な予算執行	生徒数の減少に伴う運営費予算の削減を見据えて、光熱費予算等の無駄を省く。				
		施設設備の老朽化に対して、状況を分析し更新を含めた効果的な対応を行う。				

評価領域						
第1学年	基本的な生活習慣の確立と規範意識の確立に努める。	授業規律の徹底を図り、安心して学べる落ち着いた学習環境を整備する。				
		服装・挨拶・言葉遣いなどの指導を通して、高校生としての自覚を促すとともに、自己と他者を尊重する態度を育成する。				
	学習指導の充実と主体的な学校生活への参加を促す。	基礎学力の向上に向け、家庭学習習慣の定着を図る。				
		主体的に学校生活に取り組むための一環として、部活動や学校行事への積極的な参加を促す。 分掌・教科・地域・家庭との連携を密にし、学習と部活動の両立を支援する。 保健部や教務部と連携して、支援を要する生徒の情報共有を図り、生徒の実態に応じた適切な支援を行う。				
第2学年	適切な生活習慣を確立し、規律意識及び社会人としてふさわしい態度を育成する。	学校生活の中で、社会の一員として必要な規範意識を育て、言葉遣いや服装など高校生としてふさわしい態度を育成する。				
		授業規律を確保し、家庭学習を習慣化することによって学習意欲を向上させる。				
第3学年	希望進路実現に向けた指導の充実	日々の授業を基本としながら、放課後の進学補習、Web学習サービス等を積極的に活用し、確かな学力の育成を図る。また、進路指導部や系属推進部、保護者との連携を密にして、希望進路の実現につなげる。				
	社会人基礎力の向上	学校生活や行事等を通じて、学年としての仲間意識や協調性の向上を図る。また、最上級生としてリーダーシップ及び他人を思いやる心の育成を図る。 自身の行動に対する責任と自覚を促し、他者に対する礼儀、提出物の期日厳守等を確実に指導し、社会人としての基礎・基本となる力の定着を図る。				

教科						
国語科	学習習慣を確立することによる基礎学力の定着と生徒が興味関心を持ち、主体的に取り組むことのできる授業を目指す。	計画的、継続的な小テストや学習課題を実施し、基礎言語力を向上させる。				
		授業での学びを広げ、深めるために、外部講師と連携した取組を実施する。				
		ICT機器を効果的に活用し、学びの意欲や理解度を向上させる。				
	実生活で生きて働く論理的思考と表現力の育成と希望進路実現のために支援する。	日常的に読み、書く機会を増やし、主体的な言語活動を通じて表現力を育成する。				
		自己を見つめ、分析して、表現することで希望進路を実現できるように指導する。				
		各種コンクールへの参加を推進する。				
地歴・公民科	歴史、地理、公民分野において、常に、時事問題や日本の論点に関して考察する授業改善と行うことで主権者として資質向上を図る。	「教科書をじっくり読んで、アンダーライン」「板書・ワークシートを写すだけでなく、メモの追記」を授業の基本として徹底し、社会の仕組みに関する知識理解を深化させる。				
		『本時のねらい』の明確化と授業の振り返りを徹底した授業を積み重ね、日々、衝撃的に報道される時事問題への評価や賛否の分かれる日本の論点に対し、資料解釈や表現活動を取り入れながら最善解を考察させる。				
		地方公共団体、各公益団体、大学等が主催する主権者教育、公共政策・地域創生分野の各種コンクール等に積極的に応募し、上位入選を目指すことで、学習成果の可視化を図る。				
数学科	コースに応じた授業展開で基礎力、応用力を育成し、様々な大学入試制度への対応を図り、希望進路実現へと導く。	多様な生徒の実態に応じた放課後等の適切な補充指導の実施				
		定期的な課題提出、演習活動の充実による基礎学力の定着				
		進路希望に合わせた応用力の充実を推進				
		スタディサプリを併用した進学補習の充実				
理科	生徒の興味関心を引き出し、生徒自身が学びたいような授業を展開することで、基礎学力の定着と科学的な資質・能力の育成を目指す。	授業内外でのICT機器の効果的活用により、個に応じた指導を充実させ、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図る。				
		実験・観察などの探究活動を充実化させ、自然の事物・現象について興味を持たせるとともに、それらに関する問題や課題に対する科学的思考力と表現力の育成を図る。				

教科						
保健体育科	基礎体力・運動技能の向上と健康の保持増進を図る。	規律ある効率的で個々に応じた授業展開により、体力と運動技能を向上する。				
		各種目においてICTを活用し、運動技能の向上に取り組めるよう活用方法を検討し実行する。				
	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を行い、運動の楽しさや喜びを味わうと共に、公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身につけさせる。	仲間との協力やコミュニケーションから様々な事に目配り・気配りできる力を育成する。				
		グループ学習で主体的・対話的に取り組むことによるリーダーシップ・フォロワーシップの育成 健康運動では、運動やスポーツの多様な楽しみ方を知り、生涯にわたって親しめるスポーツを見つける。				
英語科	多様な生徒の実態や生徒の希望進路に応じた指導の実践	「予習⇒授業⇒復習」の学習サイクルを確立させるとともに、小テストをこまめに実施する。				
		大学入試に対応できる学力の育成を目的とした進学講習を実施する。また、スタディサプリを活用し、学力の向上につなげる。				
	「4技能5領域（聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くこと）」の育成に向けた指導の推進	英語で生徒が自らの意見や考えを発信するための力を向上させるために、ALTを積極的に活用する。				
4技能を測定可能な実用英語技能検定を校内で実施し、CEFRレベルA2以上の資格（英検準2級以上）取得に向けた、筆記試験や面接・口頭試問の指導を推進する。また、3級及び新設の準2級プラスの受検を促進する。						

教科						
家庭科	自らの生活課題を解決するために必要な基礎的な知識と技術の育成を図る。	家庭・地域・社会に参画しながら、生活を主体的に改善・創造しようとする態度を育成する。				
		生涯を見通し、生活の中の自らの課題を解決する力を養う。				
		ICTを効果的に活用し、主体的な学びを工夫する。				
	地域の人々との交流の機会を通して生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を育成する。	地域と連携することで主体的に学ぶ機会を設定する。				
実習、体験を通して、実践的に学ぶ機会を充実させる。						
情報科	魅力ある教材の作成情報の科学的理解	生徒に応じた教材の選定（研修旅行事前学習・本の紹介プレゼンテーションなど）				
		情報モラルやセキュリティ、最新機器に関することの実際の事例による理解の深化				
農業科(京都フォレスト科)	持続可能な森林・林業を担う人材の育成に向けた、探究的・実践的な学びの高度化を促進	林業・木材加工の最新知識・技術の習得に加え、ICTやデータを活用した探究的学習の充実				
		校内外の実習や現場体験及び資格取得を通じた、実践的スキルと主体的に学ぶ力の育成				
	地域社会・大学等との協働による教育活動を通じた社会的自立と、多様な進路実現の推進	地域・企業・外部機関との連携や情報発信の充実を図り、教育活動の活性化と個別最適な進路指導の推進				

教科						
総合的な探究 の時間	〔第1学年〕 北桑田地域の自然、郷土史、民俗芸能、生活文化を学術的・体験的に学び、その中にある地域社会の諸課題に対する最善解を周り人々と協力しながら求めていく生き方について考える。	第1学期（知識・理解）、第2学期（体験・実習）、第3学期（表現）を柱として構成する年間指導計画を創造的に実践する。				
		普通科キャリアデザインコースは、講義及び実習、フィールドワーク、地域交流を通して考えた自らの着眼点について、課題作文としてまとめた上で、論旨発表を行う。				
		普通科文理探究コースは、講義及び実習、フィールドワーク、地域交流を通して考えた自らの着眼点について、英文レポートとしてまとめた上で、英語指導助手の添削指導を受け、その要旨を発表する。				
	異文化理解を深化させながら、知識や経験を英語で適切に伝え合うことができるコミュニケーション能力を養成する。	普通科キャリアデザイン・文理探究コース共に、英語指導助手の母国に関する文化や習慣に触れ、自分たちの生活文化や習慣と比較して気がついたことや発見したことを相互に伝え合う。				
		普通科キャリアデザイン・文理探究コース共に、他国生徒との交流機会や検定試験へのチャレンジを意識した取り組みを通して、自分の思いを発信したり、対話するために必要な国際共通言語への変換能力を高める。				
	〔第3学年〕 京都フォレスト科専門科目『森林科学』の一端を学んだり、大きな統計数値等から相関関係を解析するなどの学習を通して、“ふる里”の財産である里地里山を大切しながら、地域社会に生きる一員としての自覚を高める。	普通科キャリアデザインコース及び文理探究コース〔文系選択〕は、地域資源としての「森林」に関して、専門的な知見を学び知識量を蓄積する。加えて、自ら設定する地域課題に関するレポートを作成し、そのレポートに関する論旨発表を行う。				
普通科文理探究コースは、地域資源としての「森林」、産業としての「林業」に関する種々の統計資料等を読み解くために必要なビッグデータの解析方法等を学ぶ。						

学校関係者 評価委員会 による評価	
次年度に向 けた改善の 方向性	